第27回 市川手児奈文学賞

応募作品 募集中

市川は〈葛飾の真間の手児奈〉が万葉集に詠まれて以来、そのむかしから多くの文学作品の舞台となってきました。文芸風土豊かな市川を詠んだ〈短歌・俳句・川柳・詩〉を全国から募集します。

募集作品　短歌・俳句・川柳・詩の四部門。各部門につき一人五点まで。複数部門への応募可。一般の部・子どもの部（中学生以下）あり。

募集テーマ

一般の部：「二〇二六年市川を詠む」― 市川の自然、文化、祭、史跡や建物、市川ゆかりの人物などを題材とする。

子どもの部：「自由題」

応募規定

短歌・俳句・川柳部門
応募用紙又はハガキの裏面に左記の必要事項・作品を明記。ただし一枚につき作品一点。

詩部門
四〇〇字詰原稿用紙三枚以内（二〇字×六〇行以内）。原稿用紙に楷書・縦書き、パソコンで執筆し、四〇〇字詰換算枚数を併記。作品の右肩を綴じ、作品とは別に左記の必要事項を明記したものを添える。

必要事項　①応募部門 ②住所 ③氏名（ふりがな）④年齢 ⑤学生の方は学校名・学年 ⑥電話番号 ⑦ペンネーム・雅号（「一般の部」の希望者のみ）応募の際のペンネームは、その後変更できません。

※応募に際しては黒インクの筆記具（消えるボールペン不可）で記入してください。
※応募作品は未発表の自作作品とします。また、次に該当した場合は、ご応募頂いたすべての作品を無効とし、賞の発表後でも入賞・入選を取り消すものとします。
・二重投稿、または盗作、明らかな類似作品
・応募者名を複数使用した応募（本名とペンネームなど）
・各部門一人五点を超えての応募

応募方法

市公式Webサイトから応募
（https://logoform.jp/form/cGft/1558673）
郵送、又は市川市内の複数施設（表面参照）に設置した応募箱へ投函でも可。

応募フォーム

応募締切　令和八年九月十一日（金）まで（当日消印有効）

選者　俳句　能村研三（沖主宰）　短歌　田中　薫（心の花編集委員）
川柳　矢嶋もと之（川柳新潮社主幹）　詩　淵上熊太郎（詩人）

賞（一般の部）
- ●大賞（各部門一点）賞状、賞金三万円、作品集
- ●秀逸（各部門一点）賞状、賞金一万円、作品集
- ●佳作（各部門三点）賞状、賞金三千円、作品集

（子どもの部）
- ●大賞（各部門一点）賞状、図書カード五千円、作品集
- ●秀逸（各部門一点）賞状、図書カード三千円、作品集
- ●佳作（各部門三点）賞状、図書カード千円、作品集

※作品集はお一人様一冊とさせて頂きます。

（共通）
- ●入選（短歌・俳句・川柳部門九十五点。詩部門五点）

発表　令和九年一月（予定）入賞入選者のみに文書で通知。

贈賞式　令和九年二月七日（日）午後（予定）。

作品集　入賞入選作品を作品集にまとめ、刊行する。
※著作権は本人に帰属するものとします。ただし広報・展示等あらゆる目的において市川市がその作品を使用する場合、その使用を承諾したものとします。
※入賞作品は市公式Webサイトで作者名を掲載します。入賞入選作品については作者名、住所（都道府県・市区町村名のみ。市内在住者は町名まで）、子どもの部は作者名、学年を表示し、作品集に掲載します。
※応募作品は返却しません。個人情報は適正に管理し、本文学賞に関わること以外には利用しません。

主催　市川市

応募・問い合わせ
〒二七二―〇〇一五　千葉県市川市鬼高一―一―四　市川市生涯学習センター二階　市川市文学ミュージアム　市川手児奈文学賞係
電話：〇四七―三二〇―三三三四

（切り取り線）

（事務局記入欄）

フリガナ
氏名
ペンネーム・雅号（「一般の部」の希望者のみ）
住所　〒
都道府県　市区町村
電話　（　）
年齢　歳
学校名　学年
市川市立市川小学校　年

※ 字は楷書でお書きください
※ 未発表の作品に限ります
※ この用紙には作品を一つご記入ください

（切り取り線）

フリガナ
作品

（短歌）・（俳句）・（川柳）・（詩）

第27回市川手児奈文学賞応募用紙
（応募部門を○で囲んでください）
※詩部門は作品名を記入し、作品別添とする。

◀コピーしてお使いください